

じんかん

う

人間に生まれて “つながりを生きよう” 300

「自分より劣る者がおると想っておるうちは真宗は響

この真敬寺だよりは今号で300回を迎えることが出来ました。

25年、毎月発信していたことになり、初めのうちは行事の案内、続いて大坂教区からいただいた通信を載せ、皆さんのご意見、戦中戦後の思い出、それから法邑さんの法句経解説、寺での毎月の出来ごと、定例聞法会の講師の法話と続いて来ました。印刷も白黒からカラーになり、郵送方法、配布方法もいろいろと試してきました。出来るだけ皆さんに見てもらいたく写真も入れるようにしました。

「お寺であったことを出来るだけ皆さんに知らせて欲しい」「仏教のことはわからない事ばかりで読んでいても途中で読むのをやめてしまつ」「今回ののはよ

くわかりました」「むかしが懐かしい」と沢山意見をいただき、訂正したり、更生をしたりでここまで皆さんのお育てで来ることができました、ありがとうございます。

この真敬寺だよりは皆さんと真敬寺を結ぶたよりとして重要な働きをしていると思います。

出来るだけ長く続くように、これからも発信していきたいと思えます、どうかこれからもよろしくお願いいたします。

皆さんからの声かけが励みとなり力となりますのでご感想ご意見など頂ければ幸いです。



8月 真敬寺行事予定

4日から5日	日曜学校	一泊学習
6日(土)	平和の鐘	午前8時15分
7日(日)	真宗教室	午後2時
8日(月)	正信偈の会	午後2時
9日(火)	平和の鐘	午前11時2分
15日(月)	平和の鐘	
	総墓参り経	
17日(水)	定例聞法会	
	法話	馬川透流 さん
21日(日)	日曜学校	午前9時

かんで「伊藤元さんの紹介これは私のことだ、私は自分より劣った者を探し、上を目指し、低い人を作り出している、そう思ったところから私は変わってきたような気がします。」

聞法会説教から

定例聞法会の聞書

高岡教区教化教導

菊池正見さん

「あなたの物語を聞かせて下さい」



御経だつてアレは中身は物語な
 んです、うちの宗派では御経は、
 仏説大無量寿経 仏説観無
 量寿経 仏説阿弥陀経の、三
 種類しかありません。三つの物語
 しかないんです。同じ話を繰り返し返
 し繰り返し聞いていただけなんで

す。今、私は皆さんの顔を拝
 見していますが、皆さんそれぞれ
 の人生の中でお寺にご縁をいただ
 いて、この場に来られていると思
 います。そのご縁は一人一人全然
 違うと思います。

私の場合は、なぜかここにお話
 させてもらい、此処に立ってい
 ます、このように話し始めると、
 私にも物語があつたんだなあと感
 じます。皆さんにもなんとなくこ
 こに来られたというわけにはいか
 なく、それぞれに此処まで来ら
 れた物語があつたのではないかと
 思います。

やはり人生で何かがあつて此処
 にたどり着いていると思います。
 是非皆さんから皆さんの物語を
 聞きたいと思うのです。でも中々
 この場でそんな話も出来ないの

で、皆さんの顔色を見ながら、ど
 ういうことでここまで来られたの
 かなあと思いつながら話をさせてい
 ただこうと思います。



仏説観無量寿経の韋提希の物語
 ですが、韋提希はなぜお釈迦様
 前で自分の飾り物を外したのでし
 ようか？私は韋提希がお釈迦様は
 自分のために法をお説きになって
 下されると、お釈迦様の教えを聞
 く姿勢が整うように自分の飾りを
 捨てて、今まで人事だったことが
 自分のことになったことを表現し
 ていると思いました。

もう一つは、韋提希の周りに五

百人の侍女がいたとも書かれてあります。この五百人についてですが、韋提希が感動したお釈迦様の教えを、いろんな人に広めた、その人数ではないかと思えます。

韋提希から話を聞いた人、それをまた聞いた人、それまで気づかなかつた韋提希のことを心配していた人、その人数ではないかと思えます。

伝えたということと逆に心配されていたということ、私自身が知っている世界しか知らないのですが、自分が見られていることを思うと、そのきっかけがお釈迦さまの話を聞くことで自分勝手に破られていったので五百人という数字が出ているのではないかと思えます。

定例聞法会の聞書

吉見教証寺住職

中嶋憲証さん

「福島で働いて」



昨年の一月から福島原発被災地で働いてきました。原発の後始末、被爆した土をばぐって新しい土と入れ替えをする仕事をしていました。最初は月八十万円貰えると聞いていきました。が、結局のところ下請けの下請

け五次六次の下請けにしか入れず、手取りで二十万円になるかどうかの仕事でした。

まず始めに驚いたのが、毎日葬式があることです。現場と宿舎とは40分ほど離れているのですが、その通い道に4件ほど葬儀場がありそこでは大抵、毎日毎日2件はされていて、なんと沢山の方が亡くなるのかと驚きでした。聞いてみると「ここには被爆されている方が沢山おられるから」そして、地元の方々はいつ自分の番が来るかと恐れておいでるようでした。

またそこには最先端の診療所があつてそこにはヘリが日に3回も4回も飛来していました。多くの方が被爆で亡くなつておられるようですが広く知られ

ていないようです。どうも東電の方がはからっておられるという噂も聞きました。

避難困難地域の方とそうで無い方との違いが川一つで区切られ、その待遇がまるで違うのです、なので両者の争いが時々起きることもありました。

子供達が病院へ行ったらいっぱい中々見て貰えないくらい、患者さんがおられるそうです。病院に人が沢山詰めかけていたそうです。中々薬が貰えなかったそうです。

原発誘致した自治体は所得税が免除されていたそうです。

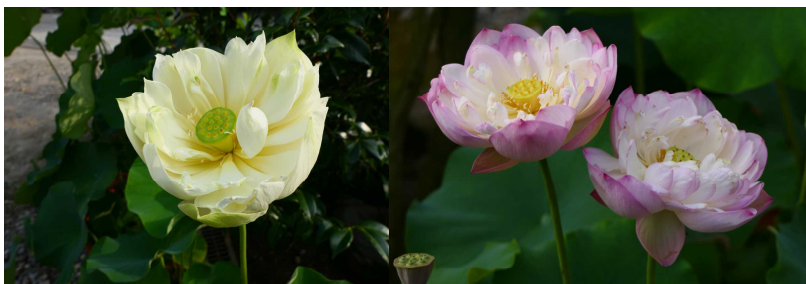
スーパーマーケットに入りましても誰、一人笑い声のない寂しい雰囲気でした。普通なら奥さん方二人、三人寄って話しておられるのですが避難困難区域の方との差が見られました。そんな中にもいつも穏やかでニコニコと笑顔で仕事をなさっておられる方とで会いました。

先月の行事

- 三日(日) 真宗教室 午後二時
- 四日(月) 正信偈の会 午後二時
- 十日(日) 日曜学校 午前九時
- 十七日(日) 定例聞法会 午前午後
- 二十四日(日) 日曜学校 午前九時 (休校)
- 二十七日(水) 暁天講座 午前五時



日曜学校の子供さんが紙芝居を順番に読み聞かせて下さいました。
今年のハスは昨年ほど咲きませんが、新しく黄色が加わりました。



発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440

真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修

0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692



ホームページを開設しました